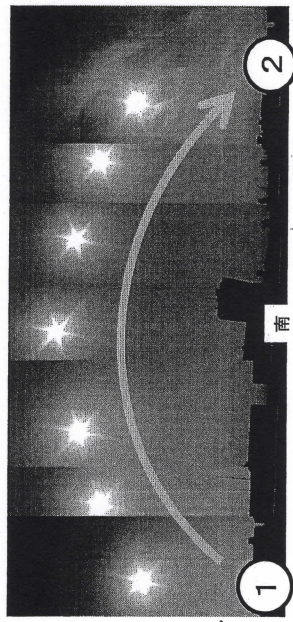


8 太陽と地面の様子

1. 下の図は、太陽の1日の動きのようすを表しています。



(1) ①②はそれぞれ、東西南北のうちどの方向ですか。

①	②
---	---

(2) () の中に、あてはまることばをかきましよう。

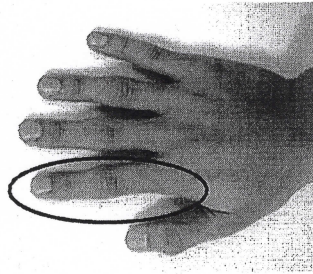
- ・太陽が東の方角にあるとき、かげは () の方角にできる。
- ・かげが動くのは、() が動くからである。

2. 日なたの地面と日かげの地面のちがいで、正しいものには○、まちがっているものには×を、() の中にかきましよう。

- () 日なたと日かげでは、明るさが違う。
- () 日なたと日かげでは、地面のあたたかさが違う。
- () 日なたと日かげでは、しめり気はかわらない。
- () 日なたの地面は、日かげの地面より温度が高い。

12 人の体のつくりと運動

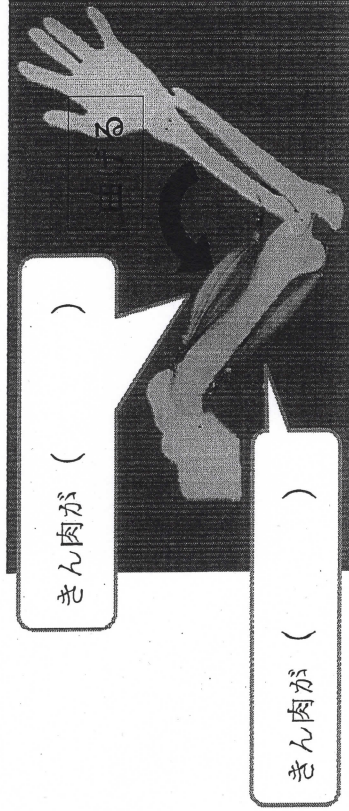
1. 右の図は人の手です。
○でかこんだ部分の、曲げることができる
ところに、●をかきいれましよう。



2. () の中に、あてはまることばをかきましよう。

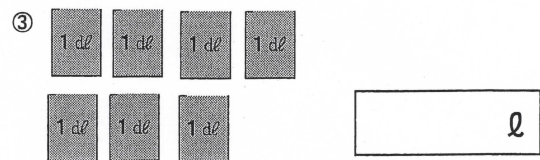
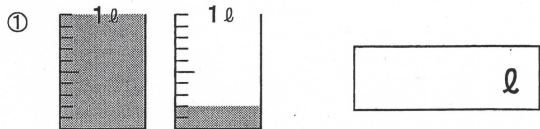
- ・体を曲げたり回したりできるところは、ほねとほねのつなぎ目で、このつなぎ目を () という。

3. 下の図は、人がうでを曲げるときの、きん肉のようすを表しています。
() に、「ちぢむ」、「ゆるむ」、のどちらかをかき入れましよう。

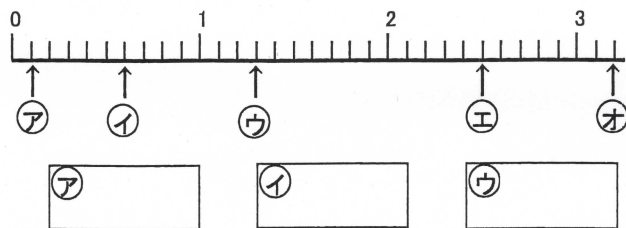


4. () の中に、あてはまる言葉をかきましよう。
- ・人は、() についているきん肉をちぢめたりゆるめたりすることで、体を動かすことができる。

1 次の水のかさは、それぞれ何ℓといえましょう、答えなさい。



2 次の数直線に示されたア～オの数を小数で答えなさい。



3 の中にあるはまる数をかきなさい。

- ① 36.8は、0.1が に集まった数です。
- ② 10より0.1小さい数は です。
- ③ 0.1が14こ、10が28こで、 です。
- ④ 421.3の小数第一位の数は、 です。
- ⑤ 0.1を に集めた数は、236.8です。
- ⑥ 7は、 を70に集めた数です。

4 次の計算を筆算でしなさい。

- ① $0.7 + 0.6$ ② $1.6 + 4.4$
- ③ $2.5 + 3$ ④ $6.9 - 2.7$
- ⑤ $12.4 - 3.5$ ⑥ $6 - 2.3$

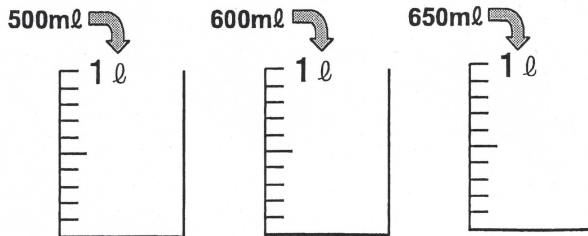
5 マフラーをあんできています。10分間に、きょう子さんは9cm あき子さんは6.7cmあみました。どちらが、何cm長くあみましたか。

(式)

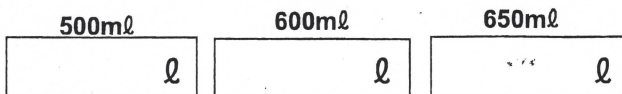
答え

6 1ℓごとに500ml、600ml、650mlの水を入れます。

① どこまで入りますか。赤えんぴつで、下のますに色をぬりなさい。



② それぞれの水のかさを、ℓの単位で表しなさい。



ゴール つなぎの言葉に気をつけて正しく文をつなごう。

- 別のことを書いている二つの文の間につなぎの言葉を入れると、文がつながり、わかりやすくなります。例のように、「上の文」と「下の文」のあいだに、上下の文をくっつけるつなぎの言葉を、うまく意味がつながるように書きましょう。

(例) 試合に勝つて、うれしかった。(だけど)、二回戦で負けて残念だった。
 先生はとても優しい。(しかし)、いじわるをすると、厳しく指導する。
 わたしは、早起きが苦手です。(だから)、朝食を食べないことがあります。

- ① 今日、私は、朝から熱がありました。()、私は学校を休みました。
 ② 昨日、宿題がたくさんありました。()、やり終えるのに、二時間かかりました。
 ③ 明日は、遠足で京都に行く予定です。()、天気予報は雨なので心配です。
 ④ 明後日は、テストがあります。()、全然勉強していません。
 ⑤ 私は、牛乳が大好きです。()、給食が待ち遠しいです。
 ⑥ わたしは、図書館に行きました。()、しずかに本を読みました。
 ⑦ 試合に負けて悔しかった。()、次の日から、一生懸命練習した。
 ⑧ 先生はとても厳しい。()、よくがんばった時は、本気でほめてくれる。

接続語(文と文をつなぐ言葉)

- ・「しかし」「けれども」「でも」は前の文とちがうことや反対のことをつなぐときに使う。
- ・「そして」「それで」「だから」は、前の文の続きや結果などをつなぐときに使う。

ふりかえり

- ・ 文と文をつなぐことができた。()
- ・ 文と文をつなぐ言葉の使い方がわかった。()

読7 つなぎの言葉に気を付け段落相互の関係に着目する。

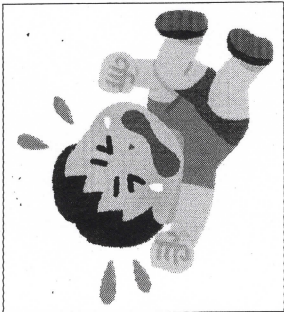
ゴール「起・承・転・結」の構成に気をつけて、物語を書こう。

○ 文章を書くときは、下の のように、お話の構成を「起・承・転・結」の4つに分けて考えると、読み手をよりひきつけることができます。次のア〜ウから絵を一枚えらび、記号を○でかこみましよう。また、えらんだ絵をもとに想像してお話を考え、①〜④の言葉に続けて書きましよう。

お話の4つの構成

- ① 起…お話の始まり
- ② 承…お話の始まりの続き
- ③ 転…予想外の出来事
- ④ 結…まとめ

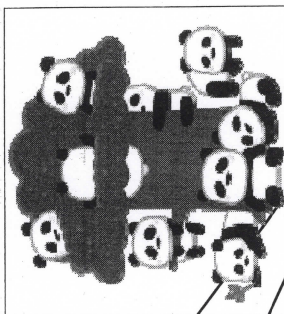
ア



イ



ウ



起	承	転	結
①ある日のことでした。	②そして、	③しかし、	④（ ）

つなぎの言葉を考えて入れましよう。
（例）とうとう、ついに

ふりかえり
起承転結に注意しながら、物語の文章について考えることができた。（ ）

書：6 4コママンガや4コマのお話を作るなど、起承転結を明確にして、書く。